

中学校

誰かの一言で

「自分がやりたいことをやればいい。」小学六年生の委員長に挑戦してみようか悩んでいた時、父がかけてくれた言葉です。最初は初めてやるし、本当にできるかなと不安な気持ちが大きかったです。でも父がこの言葉をかけてくれた時から「やってみよう」と委員長に挑戦することができました。

悩んでいる子がいたら一言かけてみんなに勇気をあたえられるそんな人になりたいと私は思いました。



中学校

置いてあった手紙

僕が反抗期になって、自分の部屋に閉じこもってしまったときの話です。家に帰って、親にテストを見せました。すると、母が、「こうすればもっと点をとれた。」「ここを頑張ればもっと点をとれた。」など、アドバイスをくれました。でも、そのときはとてもイライラしていたので、馬鹿にされていると思い、閉じこもりました。

しばらくすると、手紙とカレーが置いてあり、手紙には「こんなことで嫌にならないよ。」

とあり、それを見て泣いてしまいました。

